



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月12日

東

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所
コード番号 6166 URL <https://www.nakamura-gp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田植 啓之 (TEL) 072-274-0007
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	2,640	9.4	7	—	△21	—	△32	—
2024年3月期	2,413	△27.4	△532	—	△553	—	144	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △32百万円(—%) 2024年3月期 140百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△2.98	—	△4.0	△0.4	0.3
2024年3月期	13.08	—	18.7	△10.4	△22.1

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	5,355	819	15.1	73.51
2024年3月期	6,003	854	14.0	76.43

(参考) 自己資本 2025年3月期 810百万円 2024年3月期 842百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	123	△45	△263	1,308
2024年3月期	642	△1,771	609	1,495

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	1,340	△12.2	△15	—	25	—	△10	△0.91
通 期	3,000	13.6	35	350.1	55	—	10	0.91

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	11,020,900株	2024年3月期	11,020,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期	1株	2024年3月期	1株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	11,020,899株	2024年3月期	11,020,899株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	945	9.7	△161	—	△12	—	14	—
2024年3月期	861	△19.7	△487	—	△331	—	△413	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	1.35	—
2024年3月期	△37.56	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	1,385	△1,049	△76.4	△96.09
2024年3月期	1,576	△1,061	△68.1	△97.44

(参考) 自己資本 2025年3月期 △1,058百万円 2024年3月期 △1,073百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

・当社は、本資料の開示と合わせ、補足資料として社長による動画メッセージを当社ホームページに掲載しております。また、動画内で使用した資料につきましても、当社ホームページのほか、TDnetにて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、所得や雇用環境の改善、社会経済活動の正常化が進んだことに加え、円安を背景としたインバウンド需要の回復もあり、物価上昇による景気下押し要因はあったものの、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら世界経済においてはロシア・ウクライナ紛争や中東地域での緊張が長期化しており、地政学的リスクの高止まりが継続しているとともに、米国における政策変動や中国経済の先行き不安など、依然として厳しくかつ不透明な状況にあります。また原材料・エネルギーコストの高止まりも継続しており、わが国経済を取り巻く世界情勢は予断を許さない状況が継続しているとともに、不透明感が高まっております。

このような状況下、当社グループは、化学繊維用紡糸ノズル事業において炭素繊維用ノズルの販売が堅調に推移したものの、特殊精密機器事業においては、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルともに販売が低調に推移いたしました。またD-N e x t 事業においては、半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの販売は順調に拡大したものの、半導体需要の一時的な低迷もあり、売上高は計画を下回りました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は2,640百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は7百万円（前年同期は532百万円の営業損失）、経常損失は21百万円（前年同期は553百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は32百万円（前年同期は144百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、商社を活用した自動車部品メーカーからの受注獲得や、同業他社の廃業や事業撤退を背景とした部品需要の取り込みなどによる新規顧客開拓、既存顧客からの新規アイテム受注といった販売拡大施策は着実に進展しており、代表的な新規アイテムである新素材で製作した実装機用ノズルの出荷が当連結会計年度において開始されました。しかしながら、主力製品である耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの受注回復が遅れており、厳しい事業環境が継続いたしました。

これらの結果、売上高は707百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は29百万円（前年同期は11百万円のセグメント損失）となりました。

② 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業については、不織布関連ノズルの需要が低調に推移したものの、風力発電用ブレード向けを中心とした炭素繊維用ノズルの旺盛な需要が継続しており、売上は好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は1,679百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は146百万円（前年同期は55百万円のセグメント損失）となりました。

③ D-N e x t 事業

D-N e x t 事業については、当社製のパワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤが複数の企業に正式採用されるとともに新規顧客開拓の進展もあり、販売は順調に伸長してきました。しかしながら、当連結会計年度において車載用を中心とした半導体需要低迷の影響を受け、ウエハメーカーの稼働率が低下したため、パワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの販売が一時的に頭打ちとなり、販売数量が計画を下回ることとなりました。なお、ダイヤモンドワイヤ製造装置販売については、インドにおける太陽電池の自国内生産化の進捗の遅れに変化はなく、当連結会計年度における商談の進捗はございませんでした。

これらの結果、売上高は243百万円（前年同期比100.9%増）、セグメント損失は91百万円（前年同期は316百万円のセグメント損失）となりました。

④ マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトについては、一部の用途分野において正式採用が決定いたしました。量産期待値の高い電子部品封止剤やガス吸着用途分野においては顧客やエンドユーザーにおける正式採用に向けた評価が継続しております。また、直近において引き合いが増加している触媒用途や分離膜用途をはじめとする新規用途分野や新規顧客の開拓を目指したサンプル提供を継続しているとともに、展示会出展をはじめとしたナノサイズゼオライトの認知度向上に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は9百万円（前年同期比90.0%増）、セグメント損失は96百万円（前年同期は156百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

仕掛品が138百万円増加したものの、その他流動資産のうち未収消費税が212百万円減少、現金及び預金が186百万円減少、機械装置及び運搬具が130百万円減少、商品及び製品が114百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ648百万円減少し5,355百万円となりました。

② 負債

1年内返済予定の長期借入金が279百万円増加したものの、長期借入金が512百万円減少、電子記録債務が151百万円減少、契約負債88百万円減少がしたこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ613百万円減少し4,535百万円となりました。

③ 純資産

利益剰余金が32百万円減少したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ35百万円減少し819百万円となりました。

この結果、自己資本比率は15.1%（前連結会計年度末は14.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ186百万円減少し、1,308百万円となりました。

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によって得られた資金は、123百万円（前年同期は642百万円の収入）となりました。

これは、減価償却費222百万円、未収消費税等の減少額213百万円等の増加要因が、仕入債務の減少額152百万円、契約負債の減少額88百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によって支出された資金は、45百万円（前年同期は1,771百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出43百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によって支出された資金は、263百万円（前年同期は609百万円の収入）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出233百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の国内外の経済状況については、日本を含めた世界各国における金融政策の変更や米国における政策変動、ウクライナや中東における情勢不安の長期化や、中国経済の先行き不透明感などが市場に与える影響などもあり、今後も予断を許さない状況で推移するものと予想されます。このような状況のなか、当社グループの2026年3月期の連結業績予想を以下のとおりといたします。なお下記業績予想には、化学繊維用紡糸ノズル事業における原材料売却による営業外収益を第1四半期に織り込んでおります。

(金額単位：百万円)

	2026年3月期 第2四半期(累計)	対前年同期 増減率(%)	2026年3月期 通期	対前年同期 増減率(%)
売上高	1,340	-12.2	3,000	13.6
営業利益	△15	—	35	350.1
経常利益	25	—	55	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△10	—	10	—

① 特殊精密機器事業

耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズル分野ともに、当期においては厳しい受注環境となりましたが、次期についても当面の間は厳しい事業環境が継続するものと見ております。このような環境の中、当期から量産出荷が開始された新素材で製作した実装機用ノズルの販売が本格化することによる売上拡大や、商社を活用した自動車部品メーカーからの受注拡大、新規参入分野である半導体製造業界や新規開拓したベアリングメーカー等からの受注の獲得、既存顧客からの新規アイテムの受注獲得に注力することにより売上拡大を目指してまいります。

そのため、次期売上高は当期売上高707百万円から21.5%増の860百万円を見込んでおります。

② 化学繊維用紡糸ノズル事業

当期において堅調に推移した風力発電用ブレード向け炭素繊維用紡糸ノズルの販売については、次期においては動きが鈍化する見込みであるものの、航空機向け炭素繊維用ノズルは好調に推移すると見ております。また一部の不織布用ノズルに受注回復の兆しが見えていることや、新工場に設置した大型加工設備の活用により、不織布用大型ノズルやフィルム用ダイの売上拡大、米国やメキシコ、インド、トルコ等への営業展開の強化による売上拡大に取り組んでまいります。

そのため、次期売上高は当期売上高1,679百万円から7.2%増の1,800百万円を見込んでおります。

③ D-N e x t 事業

当社製のパワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの販売については、国内大手ダイヤモンドワイヤユーザーを中心に顧客獲得と販売数量の拡大が順調に進捗しており、次期についてもこの傾向は継続するものと見ております。国内大手顧客の開拓はほぼ完了しており、次期は顧客内における当社製品のシェアを高めるとともに、半導体用途を中心とした海外顧客の開拓を進めることにより、さらなる売上拡大を目指してまいります。

そのため、次期売上高は当期売上高243百万円から31.3%増の320百万円を見込んでおります。

④ マテリアルサイエンス事業

ナノサイズゼオライトについては、当期において化粧品用途や歯みがき粉用途において正式採用されており、少量ではありますが製品用ナノサイズゼオライトの出荷が開始されました。なお、販売数量の拡大が期待される複数の用途分野においては、量産採用に向けた顧客やエンドユーザーによる評価が継続しておりますが、電子部品封止剤用途については、次期において量産開始される見込みであることには変更はなく、量産開始に向けた生産技術力と生産性の向上に取り組んでまいります。また次期においては、ナノサイズゼオライトの販売数量を飛躍的に拡大させるため、グローバル市場に対し積極的に営業展開するための体制づくりと、当事業の継続的成長を実現するための事業スキームの策定と確立に向けた取り組みを進めてまいります。

マテリアルサイエンス事業における次期売上高は、当期売上高9百万円から103.5%増の20百万円を見込んでおります。

上記における業績見通しなどの将来に関する記述は、当社グループが現時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因により異なる場合があります。なお、江蘇三超社との国際仲裁については、現時点においてシンガポール国際仲裁センターによる仲裁判断が出ておらず、見通しが立てられないため、仲裁判断による業績への影響は連結業績予想には織り込んでいません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

現在、当社グループの会計基準は日本基準を適用しております。今後、I F R S（国際財務報告基準）の適用については、事業環境ならびに国内他社動向も踏まえ検討してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,495,324	1,308,830
受取手形及び売掛金	306,679	264,375
電子記録債権	68,962	55,494
商品及び製品	134,610	19,819
仕掛品	475,322	613,775
原材料及び貯蔵品	132,270	137,147
その他	301,373	59,275
流動資産合計	2,914,543	2,458,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,288,491	2,296,180
減価償却累計額	△953,220	△1,009,608
減損損失累計額	△340,955	△340,955
建物及び構築物（純額）	994,315	945,615
機械装置及び運搬具	5,586,530	5,619,567
減価償却累計額	△2,770,441	△2,916,905
減損損失累計額	△1,433,659	△1,450,540
機械装置及び運搬具（純額）	1,382,428	1,252,122
土地	614,882	614,882
リース資産	181,809	178,325
減価償却累計額	△55,876	△59,958
減損損失累計額	△87,420	△87,420
リース資産（純額）	38,512	30,946
建設仮勘定	1,938	1,631
その他	501,775	505,301
減価償却累計額	△396,144	△399,789
減損損失累計額	△92,250	△92,455
その他（純額）	13,380	13,056
有形固定資産合計	3,045,457	2,858,254
無形固定資産		
その他	13,506	8,674
無形固定資産合計	13,506	8,674
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692	1,572
その他	62,311	61,814
貸倒引当金	△33,923	△33,923
投資その他の資産合計	30,080	29,463
固定資産合計	3,089,043	2,896,393
資産合計	6,003,587	5,355,110

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,946	66,576
電子記録債務	194,831	43,344
前受金	186,666	186,666
契約負債	341,142	252,283
短期借入金	2,040,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	233,317	512,503
リース債務	24,082	21,446
未払法人税等	10,344	20,571
賞与引当金	68,579	8,616
受注損失引当金	25,781	25,647
その他	146,279	114,331
流動負債合計	3,339,972	3,291,986
固定負債		
長期借入金	791,689	279,186
リース債務	91,826	70,380
繰延税金負債	504,128	492,754
退職給付に係る負債	240,147	225,602
資産除去債務	50,069	50,779
その他	130,848	124,657
固定負債合計	1,808,710	1,243,361
負債合計	5,148,682	4,535,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	349,042	349,042
資本剰余金	299,042	299,042
利益剰余金	215,362	182,569
自己株式	△0	△0
株主資本合計	863,447	830,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△590	△678
繰延ヘッジ損益	△1,591	△34
為替換算調整勘定	△18,910	△19,759
その他の包括利益累計額合計	△21,093	△20,472
新株予約権	12,550	9,582
非支配株主持分	-	-
純資産合計	854,904	819,763
負債純資産合計	6,003,587	5,355,110

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,413,086	2,640,960
売上原価	2,026,666	1,961,995
売上総利益	386,420	678,964
販売費及び一般管理費	918,808	671,188
営業利益又は営業損失(△)	△532,387	7,776
営業外収益		
受取利息	106	511
受取配当金	43	48
助成金収入	2,661	21
スクラップ売却益	5,159	7,836
為替差益	11,606	-
補助金収入	6,757	12,920
その他	586	139
営業外収益合計	26,920	21,476
営業外費用		
支払利息	39,965	41,854
為替差損	-	1,567
シンジケートローン手数料	6,000	6,000
その他	2,000	1,500
営業外費用合計	47,966	50,922
経常損失(△)	△553,433	△21,669
特別利益		
固定資産売却益	399	-
新株予約権戻入益	932	2,968
補助金収入	1,181,708	-
特別利益合計	1,183,041	2,968
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	45,053	8,968
投資有価証券評価損	267	-
訴訟関連費用	56,416	201
特別損失合計	101,736	9,170
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	527,871	△27,872
法人税、住民税及び事業税	8,643	16,461
法人税等調整額	375,058	△11,541
法人税等合計	383,701	4,920
当期純利益又は当期純損失(△)	144,169	△32,793
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	144,169	△32,793

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	144,169	△32,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△87
繰延ヘッジ損益	△245	1,557
為替換算調整勘定	△3,068	△849
その他の包括利益合計	△3,303	620
包括利益	140,866	△32,172
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	140,866	△32,172
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	349,042	299,042	71,192	-	719,277
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			144,169		144,169
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	144,169	△0	144,169
当期末残高	349,042	299,042	215,362	△0	863,447

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	△601	△1,345	△15,842	△17,789	13,483	-	714,971
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							144,169
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10	△245	△3,068	△3,303	△932	-	△4,235
当期変動額合計	10	△245	△3,068	△3,303	△932	-	139,933
当期末残高	△590	△1,591	△18,910	△21,093	12,550	-	854,904

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	349,042	299,042	215,362	△0	863,447
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△32,793		△32,793
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△32,793	-	△32,793
当期末残高	349,042	299,042	182,569	△0	830,654

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	△590	△1,591	△18,910	△21,093	12,550	-	854,904
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△32,793
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△87	1,557	△849	620	△2,968	-	△2,347
当期変動額合計	△87	1,557	△849	620	△2,968	-	△35,140
当期末残高	△678	△34	△19,759	△20,472	9,582	-	819,763

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	527,871	△27,872
減価償却費	186,434	222,455
受取利息及び受取配当金	△149	△559
助成金収入	△2,661	△21
補助金収入	△1,188,465	△12,920
支払利息	39,965	41,854
シンジケートローン手数料	6,000	6,000
固定資産売却損益(△は益)	△399	-
固定資産除却損	0	0
減損損失	45,053	8,968
訴訟関連費用	56,416	201
売上債権の増減額(△は増加)	97,719	55,728
棚卸資産の増減額(△は増加)	△202,916	△28,547
未収消費税等の増減額(△は増加)	△228,971	213,023
前渡金の増減額(△は増加)	43,212	305
投資有価証券評価損益(△は益)	267	-
契約負債の増減額(△は減少)	114,702	△88,859
仕入債務の増減額(△は減少)	7,298	△152,099
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,836	△59,963
受注損失引当金の増減額(△は減少)	22,702	△134
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,382	△14,544
その他	21,657	△33,813
小計	△438,043	129,202
利息及び配当金の受取額	149	559
利息の支払額	△40,894	△41,978
助成金の受取額	2,661	21
補助金の受取額	1,188,465	12,920
保険金の受取額	402	-
訴訟関連費用の支払額	△58,507	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,408	22,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	642,825	123,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,772,365	△43,523
有形固定資産の売却による収入	1,327	-
無形固定資産の取得による支出	△850	△1,715
その他	510	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,771,377	△45,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800,000	-
長期借入金の返済による支出	△174,993	△233,317
リース債務の返済による支出	△32,567	△24,082
シンジケートローン手数料の支払額	△6,000	△6,000
自己株式の取得による支出	△0	-
セール・アンド・リースバックによる収入	23,100	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	609,538	△263,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,211	△1,254
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△503,801	△186,494
現金及び現金同等物の期首残高	1,999,126	1,495,324
現金及び現金同等物の期末残高	1,495,324	1,308,830

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものとあります。

当社グループは、当社及び子会社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、特殊精密機器事業及び化学繊維用紡糸ノズル事業、D-N e x t 事業、マテリアルサイエンス事業の4つを報告セグメントとしております。

特殊精密機器事業は、主に電子部品実装機用のノズル及び装着ヘッド周辺部品、産業工作機械用の基幹部品を生産しております。化学繊維用紡糸ノズル事業は、主に化学繊維用の紡糸ノズルや不織布製造装置及び不織布関連ノズル等を生産しております。D-N e x t 事業は、パワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの生産やダイヤモンドワイヤ製造装置の販売を行っております。マテリアルサイエンス事業は、ナノサイズゼオライトの開発・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントごとの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2 (注) 4	合計
売上高							
外部顧客への 売上高	715,762	1,570,847	121,304	5,173	2,413,086	—	2,413,086
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	42,209	55	50	—	42,314	△42,314	—
計	757,972	1,570,902	121,354	5,173	2,455,401	△42,314	2,413,086
セグメント損失(△)	△11,970	△55,939	△316,807	△156,212	△540,929	8,541	△532,387
セグメント資産 (注) 3	548,477	4,818,269	54,851	1,918	5,423,517	580,070	6,003,587
その他の項目							
減価償却費	8,064	174,501	1,154	2,713	186,434	—	186,434
減損損失	26,435	2,077	12,560	3,774	44,848	205	45,053
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	49,535	1,707,048	12,560	3,775	1,772,919	300	1,773,219

(注) 1 セグメント損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

3 資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産の主なものは、当社での余資運用資金555,272千円であります。

4 減損損失の調整額は、すべて共用資産に係る金額であります。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1 (注)2 (注)4	合計
売上高							
外部顧客への 売上高	707,530	1,679,856	243,744	9,828	2,640,960	—	2,640,960
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,520	536	—	—	8,056	△8,056	—
計	715,050	1,680,392	243,744	9,828	2,649,016	△8,056	2,640,960
セグメント利益 又は損失(△)	29,409	146,022	△91,616	△96,101	△12,286	20,062	7,776
セグメント資産 (注)3	548,263	4,343,911	89,186	1,842	4,983,203	371,907	5,355,110
その他の項目							
減価償却費	8,145	210,535	1,120	2,653	222,455	—	222,455
減損損失	204	—	6,164	393	6,763	2,205	8,968
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	205	30,459	6,164	393	37,222	2,210	39,432

- (注) 1 セグメント損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。
- 2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。
- 3 資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産の主なものは、当社での余資運用資金370,964千円であります。
- 4 減損損失の調整額は、すべて共用資産に係る金額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	韓国	アジア (中国、韓国除く)	ヨーロッパ	その他	合計
1,466,736	724,177	42,569	56,724	42,980	79,899	2,413,086

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
NATIONAL FOX LIMITED.	330,626	化学繊維用紡糸ノズル事業

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	韓国	アジア (中国、韓国除く)	ヨーロッパ	その他	合計
1,446,671	876,898	60,515	152,878	43,518	60,478	2,640,960

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
NATIONAL FOX LIMITED.	520,818	化学繊維用紡糸ノズル事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

報告セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

報告セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	76.43円	73.51円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	13.08円	△2.98円

(注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	144,169	△32,793
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	144,169	△32,793
普通株式の期中平均株式数(株)	11,020,899	11,020,899
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の 概要	新株予約権1種類 新株予約権の数 148個 普通株式 14,800株	新株予約権1種類 新株予約権の数 113個 普通株式 11,300株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	854,904	819,763
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	12,550	9,582
(うち新株予約権(千円))	(12,550)	(9,582)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	842,354	810,181
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	11,020,899	11,020,899